

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	下垣 真希 先生 (命の歌の達人)	
実施校	豊川市立三蔵子小学校	
実施日	平成21年2月24日(火曜日)	
実施学級	1～3年(408人)、4～6年(371人)	
授業の実際		<p>前半(1・2・3年)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教師による達人の紹介。(歌の達人) 2 子どもたちの「シャボン玉」の歌唱。 3 達人の歌唱指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ろうそくの炎を消すように、息をはく。 ・「シャボン玉」の歌詞の意味は、亡くなってしまった子どものこと。 4 もう一度、子どもたちで「シャボン玉」を歌唱。 5 達人のミニコンサート 「七つの子」「ます」「シャボン玉」他 6 達人への質問 いつから歌を始めたか。 <p>後半(4・5・6年)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教師による達人の紹介。(歌の達人) 2 子どもたちの「ふるさと」の歌唱。 3 達人の歌唱指導 <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」の歌詞の意味を理解して歌うことが大切。豊川の好きな場所を思い浮かべて歌う。 4 もう一度、子どもたちで「ふるさと」を歌唱。 5 達人のミニコンサート 「ふるさと」「アメーzing・グレース」他 6 達人への質問 人前で緊張せず歌う方法。
児童の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・下垣さんの歌が上手でびっくりした。自分も歌手になりたくなった。(1年) ・歌がきらいだったのに、下垣さんの歌を聴いたら音楽が楽しくなった。(2年) ・「ます」の歌詞の意味を説明して下さり、ドイツ語なのに歌の場面が伝わってきた。(3年) ・「ふるさと」に気持ちをこめたら、とてもうまく歌えた。(4年) ・シャボン玉の歌詞の意味を聞いて、命の大切さがわかった。(5年) ・歌の歌い方だけでなく、命の大切さも知ることができた。(6年) 	
教師の感想	<p>1年から3年は、「シャボン玉」を歌ったが、今回、下垣さんがミニコンサートで歌われた「七つの子」が素晴らしかったので、こちらの曲を歌ってみてもよいと思った。</p> <p>下垣さんの美しい歌声と語りは子どもたちも、教師も感動した。また、下垣さんからあふれ出るプロの輝きに圧倒させられた。歌の素晴らしさを学ぶことができた。</p>	